新し申したやうに致す者へで居ります云々に、 \*\*\*\* \*\*\* ・ うなが

しいので私も子供がありますから休暇中は只今か 家庭の方で充分に監督をして下さらないと中々難ないといった。 見るだらうと思います、尤も是等の方法に就ては まして置きましたから本年は割合に好い結果をます。 まない まない ままり

> 暑中休暇と家庭 女高師教授

+

暑中休暇の間は田舍住居をさせて自然に接觸さす 兄童の爲に良いと思ひます、例へば木の葉の落ちにような。 る方が知識を啓發する上にも亦身体を養ふ上にも るのや水の流るく音などは見童の非常に楽しみ喜 Ŧî.

して置くと自然に規律が紊れます、そこで一般の だから何うでもよいと云つたやうに打棄り放しに うなことがわつてはいけません、どうせ遊ばすの 但し田舍住居をさすにしても决して規律を紊すやだね。 ないま こぶ處ですが之れは都會に居ては兎ても駄目です

せることも出來やうけれど困るのは經濟其他のはないない。 た旅館などへ連れて行つてゆるゆると愉快 兄童が誰れでも田舎住居が出來るかと云ふに、先こと。 \*\* づ中流以上の家庭ならば別莊もわらうし或ひはま いに遊ば

◎新學士の求婚條件 某大學教授の奥さんの話とい 櫨威の蔓である▲娘のおやちどんが何んで、親類に 議する▲芋の蔓か茄子の蔓かと、質して見ると夫は ふを聞くと、從來大學出の新學士連が嫁を貰らふ第 むのは殆ど皆無なばかりか鼻であしらふやうな傾き 折第一に目指されるのが華族女學校で次 は お 茶 の **汝でもないが並に一つの不思議といふは教育詮議の** してから、さて命容貎教育となる▲別に不思議な沙 るイヤ陸海軍の方に縁が續て居るなど、憂詮議を郡 何爵が居るとか居ないとか、夾官の何がしに蔓があ いふ段取であつた、所が近來は先づ蔓といふ事を詮 一の條件といへば金といふとで夫から容貎に教育と 夫から跡見女學校といふ順序で女子大學をと望

あるさうな

仕掛で難かしくない仕事を見竟に宛てが

义

0

が N'O

ではな

かろうか

と思ひ

います。

L

す

Ó

をとなる、 保t もせずに家内で遊んで居ると第一運動 いより其様 なな餘裕の すると食物に拘はる、 のない家庭の兒童 です。 が足らず又 終日何に

る、 向て善とか美とか 果は焦れる、 よくな **變化と云ふものがないから自然不愉快に日を送る** そこで此種類の家庭では休暇の間何か小さない。 い事で、 この焦れさすと云ふ事が教育上甚だ 焦れると何うしても心が悪 が徳とか云 ムふ事が 心に起らなくな 兄弟喧嘩をする い方に

作な花壇のやうなものを築いて夫を弄らせるなど 要です、例へば少しでも空地 は何らする事 事は尤も良い方法であります、 此處へ花壇を作つて勝手氣儘 る出來ないから先づ疊一枚位の處で のある家なれば無造 私共の家庭で に弄らせ

云公

満れて

Ū

四角ばら

¥Ω

規律の間に愉快に生活させる事を圖

とか云ふものを支出 二人あつたからと云つて然程生活費の上に違いた。 快に遊ばせると云ふ様に組織されて居るが我國で ないけれ かと申ますと中以下の家庭の多くは子供の一人や は今直に之を實行する事は難かしいのです、何故いないないになった。 暑中になると海濱に家を借りて先生が連れて往ついます。 て遊ばせるとか又は山間に天幕を張つて此處で愉 つて 居ます、 と之が爲に別に監督費とか 西洋では幼稚 て遊びに出 園主が主宰者と成つて 食料とか旅費 は随分困難 いは

竟家庭にばかり在るより 寧ろ無い方を希ふものが多い、 中以下の家庭に在つては暑中休暇(冬季も)などはまられず、からない。 と云つて丸ッきり休ませぬと云ふのもよくない なりに在る方が實際宜し は小學校なり又は幼稚 いからであるが それと云ふの それ るる 園系

遊べる組 らうと思 たら、 業後なり程 斯 所が出來てゐて何人でも僅少な人 で遊ばせる事る出來、 教師や保姆が洗つてやる位の面例を見て小兒等をす。 せば \*\*\*\* 今一つ近郊に小山を築いて、 為には餘程便利な事 う云ふ て身神共に爽快ならしむると云ふ樣な設備をし 暑中休暇中田舎住居の出來以兒童等を此處しまるのかである。 はれ 織になつて居ります 数 こい時間に温浴でも水浴でもとらせて Ō せす、 一つあ 西洋では近郊に遊泳場の様な は云 平日でも亦大なる效果(5じつ まただら からくも れば中以下の家庭 一人まで それ が、 યું 東京市 なく、 場等 に樹木が茂 此外にも を排法 附 Ō 見重 近にも かりま カジ ば あ あ

> でも流 申した處で富豪中で賛成して下さる方がなる。とろようかうないないと 場を設けて入場料も取らず父兄達も附添人も自由 せるなり植ゑさせるなりする花壇を築いた大遊園 遊ばせる様にしたいものです、 に入場することにして都下の小學校や幼稚園生をいます。 思ひます云々の 易く設くる事が れて其時々の草花などを兒童自身に培養されて其時々の草花などを兒童自身に培養さ 出來ませう、 私は是非設けた 尤も是等の設備と あ n V

われます又一方では學校や幼稚園で授業中なり授

ら課業を修

めさせ

るのが良い方法であらうか

上思\*。

かゞ

らば平日の課業のやうに四角ばらずに遊ばせな

ら二ケ

月

の休暇を一

ケリク

に短

縮して小學校の方な

●有害な白 懲おしろい 音羽彅▲初霜▲花の雪▲花玉白粉▲新花王▲パイ かた▲雲井▲むつ花▲きく童▲麝香玉▲クイン白粉 ▲たつ 白粉 ▲薬童お ▲新スミ しろい レ白粉▲無害水晶▲今美人▲ 白粉▲都の花 ▲白薬 おしろい ▲富士み

ゆり▲御園の雪▲御園の月▲はなケラシ オフキリ ▲水晶おしろ

無害な白粉

レツト

た▲

n